

5月8日から、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の感染症法上の位置づけが、2類から5類に移行しました。マスクやワクチンなど、これからどうすべきか。社会福祉法人大阪社会医療センター附属病院（以下、医療センター）の工藤新三副院長に現状や取り組みについて聞きました。

新型コロナウイルス5類移行

今後の注意点は？

●コロナの現状

今年1月以降入院患者はいません。発熱患者は来ますが、検査をしても陽性は出ていません。5月8日以降は、指定医療機関に来た患者数で全体を把握することになります。国内では第8波は微増で、死亡数は第6波から第8波と右肩上がりに増えています。高齢者の死亡が多いことが特徴です。欧米では死亡数が減少傾向にあり、日本の上昇傾向が心配です。

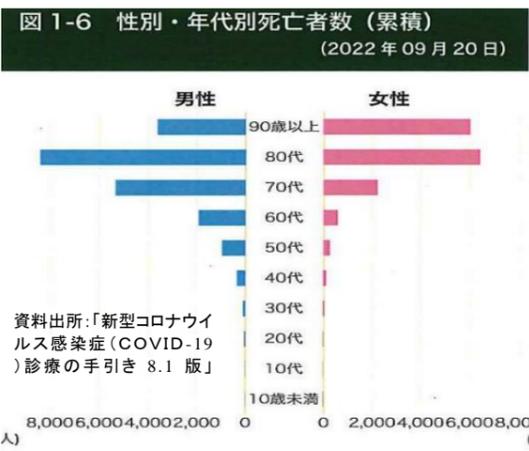
●マスク着用や予防接種はどうなる？

感染後の療養期間は、医療機関によって、7日から5日間で、一定の隔離期間が必要となっています。濃厚接触者については、病院の職員などは5日間で、症状がなければ検査で陰性なら仕事に就けます。マスク着用は、人との距離が1.5m離れていたたり、屋外を歩く時は着用する必要はないでしょう。ただ混雑した電車の中や映画館の中など人ごみの中では、もうしばらくの間は着用したほうがよいと思います。



窓口での仕切りは、もうしばらくは必要だと思います。必要がなくなる時は、国など行政からの情報提供に注意が必要です。例えば、ワクチン接種や入院費用の一部は、今のところ公費負担とされていますが、今後は自己負担になっていくでしょう。

ワクチン接種は、高齢者や基礎疾患のある人は接種すべきです。はしかのワクチンとは違い、一定時間過ぎれば抗体は少なくなってしまう。遺伝子型が変わってワクチンが効かない場合もあります。インフルエンザのように患者数が冬に増えるという傾向ははっきりすれば、その前にワクチンの接種を実施するという形になるでしょう。



検査キット等は、発熱、のどの痛みや咳などの症状がある場合は、抗原検査で十分です。症状が出ていない場合は、遺伝子を調べるPCR検査が必要です。



●看護の体制を構築し、安心して医療が受けられるように

10歳代から40歳代において、感染者が非常に多く、亡くなった人は、圧倒的に高齢者が多いです。ワクチンやコロナの関連情報を80歳代の人たちがきちんと受け取れるような連絡のシステムが大事だと思います。

第6波の時は、高齢者が厳しい状況でした。ベッドがなく十分な医療を受けることができずに亡くなる方もありました。注射や飲み薬に加え十分なケアを受けていければ、重症化せずに済んだ患者さんもおられたはず。高齢者施設では介護者への感染もあり、十分な対応が難しかったようです。

日本は世界から見れば感染や致死率は低いですが、いざという時に、医療体制を確保するため、退職している看護師等が現場に復帰できるような体制づくりが必要だと思います。

●かかりつけ医をつくることも大切

コロナとインフルエンザの違いは、まず致死率の違いです。コロナの方が明らかに高く、症状はそんなに変わりません。コロナも遺伝変異を繰り返して致死率が低下し、インフルエンザに近くなってきました。

この地域では、医療センターにかかっている患者さんは、健康についての意識が高いです。自分のかかりつけ医をつくるということも大事です。地域の高齢者が友人などのつながりを持ちながら、仕事や生活を続けることがとても大切なことだと思います。



大阪社会医療センター附属病院
工藤副院長

【新型コロナ予防8策】

1. かぜをひかないように注意する。
2. 人混みは避けるか、マスクをしていく。
3. まめに手を洗う(30秒以上)。アルコール消毒があれば活用する。
4. 睡眠を十分取る(6時間以上)
5. 食事はしっかりし、朝食は必ず取る。
6. 適度な運動をする。1日1~2回、1回30分のウォーキングなど。
7. 健康に注意し年に1回は健診を受け、できればかかりつけ医をつくる。
8. 新聞などを読み、友人と話をし、よく笑ってリラックスする。

求人情報

来年度から建設業においても時間外労働が年間960時間・1か月の時間外労働の上限が平均で80時間に制限される。これを踏まえ、大手住宅メーカーでは、大工の採用数を大幅に増やす動きがある。この動きに併せて、初任給などを大幅に引き上げ、長く働いてもらえる環境を整えるようだ。

建設業界では、大工など一定の技術を習得した社員は、独立したほうが収入面で高くなる傾向がある。前段の環境整備を踏まえ、人材不足による生産性の減少予防のため、社員の離職防止に努めたいという会社としての思惑がある。

地域の現金求人、対前月増減比9.6%、対前年同月増減比4.5%となった。梅雨入りし、地域求人が厳しい時期となっている。建設大手の待遇改善の動きが、今後の地域求人にも好循環に作用することが望まれるところだ。

5月の地域求人数(速報値)		対前月増減比	対前年同月増減比
現金(日払い)	11,984	9.6%	-4.5%
契約(延べ数)	12,010	40.0%	-6.6%
高齢者清掃ほか	4,630	0.5%	-5.0%

森先生の詰り将棋(三手詰)



答えは裏面に掲載

